



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2020年(令和2年)2月25日号 No.1818

目次

■ 2019年のロシアの貿易	1
一石油ガスの価格下落で輸出縮小一	
■ 『ロシアNIS調査月報』2020年3月号のご紹介	9
■ 新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応	ROTOBOモスクワ事務所 10
■ トピックス	14
住金機構がカザフ住宅抵当公社と協力覚書	14
コーカサスでも新型コロナウイルス水際対策	14
中央アジア諸国でも国境検査体制を強化	14
カザフで日本人含む渡航者の入国時検疫強化	15

2019年のロシアの貿易 一石油ガスの価格下落で輸出縮小一

はじめに

2019年のロシア貿易統計の概況が発表されたので、今号ではこれを図表にまとめてお届けする。なお、2019年のロシアの貿易統計については後日、『ロシアNIS調査月報』でより詳細に報告する予定である。

ロシアの貿易統計には、大別すると、①国際収支ベースのもの、②通関統計ベースのもの2種類がある。国際収支ベースの輸出入額の推移を示したのが、図表1である。2019年のロシアの商品輸出は4,188億ドル(前年比5.5%減)、輸入は2,541億ドル(前年比2.2%増)であった。輸出減と輸出増の結果、貿易黒字は前年よりも縮小し、1,647億ドルとなった。

図表2以下は、すべてロシア連邦税関局が発表した通関統計である。通関統計では、輸出4,228億ドル(前年比6.0%減)、輸入は2,438億ドル(前年比2.2%増)となっている。

図表2を見ると、2019年にロシアの輸出では主力の燃料・エネルギーの縮小が目立ち、これが輸出不振の主原因だったと考えて間違いないだろう。図表4によれば、原油の輸出は数量は2.7%増ながら金額は6.0%減、天然ガスは数量は0.3%の微減ながら金額は15.3%減となっている。2018年には石油・ガスの価格上昇の恩恵を受けたが、2019年には一転して価格下落の打撃を受けた。そうした中、液化天然ガス(LNG)だけは、ヤマルLNGプロジェクトの効果で、急拡大を遂げている。

ただ、図表2を見ると、燃料・エネルギー以外の主要部門も、軒並み前年の水準を下回っている。プーチン政権は「非原料・非エネルギー商品」の輸出拡大を目標に掲げているわけだが、詳細は不